

**3月20日 予算審査特別委員会総括質問の質疑についてご報告いたします。**

**1. 契約について**

昨年、印刷の指名競争入札で区外Aランク業者Tが指名されて右記①のように落札されました。また、今年も区外Aランク業者Nが指名されて右記②のように落札されました。

**Q 1** 落札金額から見ても、入札参加業者数から見ても、わざわざ区外のAランク業者を指名して参加させるほどの案件なのか？

また、区内事業者の育成・保護ということを標榜している板橋区なのだから、区内事業者だけではダメなのか？

**A-1** フォーム印刷のできる事業者は区内11社であり、競争性の担保から区外事業者を指名した。

**Q 2** 物品契約での最低落札価格は予定価格の26%ということもあり、たたき合いの感がある。入札結果②のようにN社がかけ離れた金額で落札してしまうようなことがおきないように、最低制限価格の導入を再三提案しているが、導入の見通しは？

**A-2** 5区では導入。再度研究していく。

**Q 3** 1/27にホテル生態環境館の立入調査を行い、ホテルの飼育について履行されていないことが判明して業務委託をしてきた「むし企画」との契約を1月末に打ち切った。2～3月分については契約不履行になると思われるが、違約金を求めるつもりはあるか？ また、それ以前についても違約金を要求することはあるか？

**A-3** 2～3月分については違約金を取る方向で話を進めている。それ以前については、弁護士と相談していく。

**Q 4** 南館の完成を目前に、板橋福祉事務所の入るスペースが足りないということで、MSビルを1.5倍という高額賃料で3年間借りて、その間に板橋保健所跡に新しいビルを建設するという驚愕プランが沸き上がった。すべての部署の必要面積を再度割り出して、検証する検討会を設置すべきと思うがどうか？

**A-4** 庁内で十分な検討をして議会にもお示しする。

**入札結果①**

○件名  
国民健康保険納入通知書  
他2件の印刷

○改札日  
平成25年2月26日

○落札業者(本社)  
**T株式会社(東京都港区)**

○共同格付  
**ランク...A 順位...5位**

○落札金額  
1,874,300円

会社名	入札金額
1 区外T社	¥1,874,300
2 区内A社	¥1,943,600
3 区内B社	¥2,804,000
4 区内C社	¥3,030,000
5 区内D社	¥3,042,000
6 区内E社	¥3,264,000

**入札結果②**

○件名  
国民健康保険資格異動届  
他11件の印刷

○改札日  
平成26年2月4日

○落札業者(本社)  
**N株式会社(東京都台東区)**

○共同格付  
**ランク...A 順位...80位**

○落札金額  
1,373,850円

会社名	入札金額
1 区外N社	¥1,373,850
2 区内A社	¥2,294,400
3 区内B社	¥2,421,800
4 区内C社	¥2,424,000
5 区内D社	¥2,468,000
6 区内E社	¥2,498,000
7 区内F社	¥2,530,000



**2. 保育行政について**

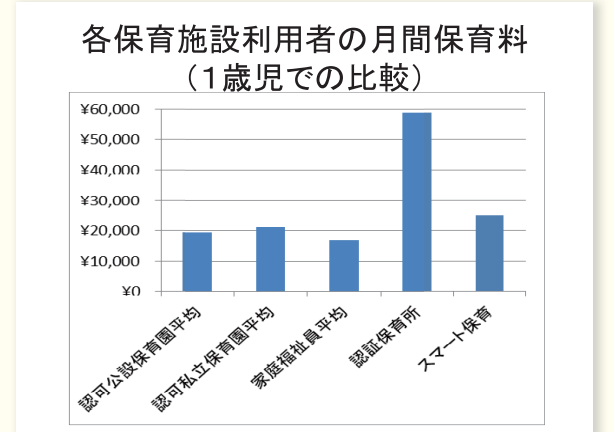
認可保育所の定員数は平成22年には8298人で今年9044人と板橋区は、毎年、定員拡充に努めています。しかし、保育需要率が平成17年には35.2%だったものが24年には40.3%と急増して、いわゆる待機児童数は約500人という状況です。

**Q 5** 認可保育園に入れない子どもは、その他の保育施設を利用する。今年からスマート保育がスタートするがスマート保育と認証保育の保育内容の違いは？

**A-2** 基本的には変わらない。

**Q 6** であれば1歳児のスマート保育の保育料は右図のように25000円。同じ内容の認証保育所では58000円。今回の区からの認証保育所の保育料助成は最高1万円から今年2万円に引き上げたのは評価するけれどまだまだ助成を拡充すべきと思うがどうか？

**A-6** 区の財政状況を見て考えていく。



**3. 児童館の将来**

児童館は近い将来、統廃合の予定と聞いています。

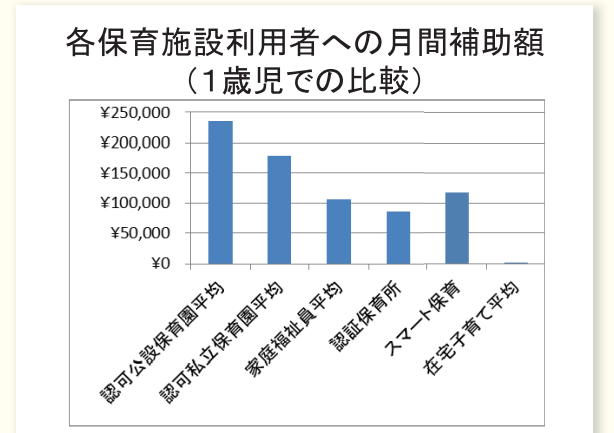
**Q 7** 児童館38館中20館は保育園との併合施設。児童館を統廃合をする場合には、ぜひ認可保育園の定員拡充をするべきと考えるが、どうか？

**A-7** 貴重な保育園の場所として利用できると考える。

児童館での小学生と未就学児童とのすみ分けを考えていると聞いています。1歳児での保育施設利用者への月額補助額を比較した右図を見てください。在宅子育て世帯への補助額はわずか719円という数字が出ています。

**Q 8** 在宅子育て支援のための児童館のすみ分けをどのように考えているか？

**A-8** 児童館に替わる新たな施設については、在宅子育て支援に軸足を移していく。小学生と時間的・空間的すみ分けを考えていく。



**4. 新しいキッズについて**

平成26年度から新しいキッズが11校でスタートしました。

**Q 9** 甲時間・乙時間という名称を公募で変更したときいているがどうなったか？

**A-9** 午後5時までの甲時間を「さんさんタイム」その後の7時までの乙時間を「きらきらタイム」とした。

**Q 10** その新規10校で、あいキッズ専用ルームの確保ができるのか？

**A-10** 余裕教室確保が4校、大規模改修で新たに確保できるのが3校、近隣の学童クラブ活用が1校、確保できない2校についてはプレハブ以外の建設を考えている。